



◆8月のCP市場動向

8月末のCP市場は、25兆6,560億円と前月比で3,947億円残高が減少した。前年同月比では、892億円の増加となった。発行市場は、食料品、石油製品、小売業、ガス業、不動産業、その他金融業で大型の発行案件が観測された。業種別残高では、ABCPは1兆8,415億円（前月比+1,944億円）と増加。一方で、一般事業法人は9兆7,039億円（前月比▲4,791億円）、証券は、2兆4,527億円（同▲976億円）と減少した。発行レートについては、a-1格の銘柄で1か月物が1.00%台前半から1.20%台半ば、3か月物が1.20%台半ばから1.40%近辺と、幅広い水準での出会いがみられた。

注：「一般事業法人」＝事業法人からその他金融を除いたもの

【業態別残高内訳】

業 態	8月末残高	7月末残高	増 減
一般事業法人	97,039	101,830	-4,791
その他金融	113,559	113,748	-189
金融機関	27,547	28,458	-911
政府系金融	0	0	0
銀行等	3,020	2,955	65
証 券	24,527	25,503	-976
A B C P	18,415	16,471	1,944
計	256,560	260,507	-3,947

（出所：証券保管振替機構）

【格付け別の発行レート】

格 付	1か月	2か月	3か月
a-1+（一般事業法人）	1.030% ～ 1.269%	1.100% ～ 1.255%	1.275% ～ 1.450%
a-1（一般事業法人）	1.017% ～ 1.345%	1.240% ～ 1.258%	1.263% ～ 1.565%
a-1+（リース銘柄）	1.030% ～ 1.195%	1.150% ～ 1.335%	1.360% ～ ——
a-1（リース銘柄）	1.020% ～ 1.160%	1.120% ～ 1.250%	1.258% ～ 1.420%
a-2	1.377% ～ ——	—— ～ ——	1.330% ～ 1.495%

«短期社債登録状況»

	6月末	7月末	8月末
登録企業数	557	558	557
増減	1	1	▲1

(出所：証券保管振替機構)

«8月のCP現先市場»

現先（S/N）レートは、0.90%近辺での出会いであった。

◆9月のCP市場動向

発行市場は例年同様、事業法人による四半期末の残高調整により落ち着いた市場となることが予想される。また、足許では9月会合での利上げ織り込みが進んでいることから、発行レートはa-1格相当の1か月物で1.20%近辺からの出会い、3か月物に関しては1.30%台前半からレートの水準感を探る展開を予想する。

«9月のCP現先市場»

現先（S/N）レートは、9月会合までは0.90%近辺の出会い、会合後は政策金利の引き上げ幅に応じて、上昇余地を探る展開が見込まれる。

参考資料

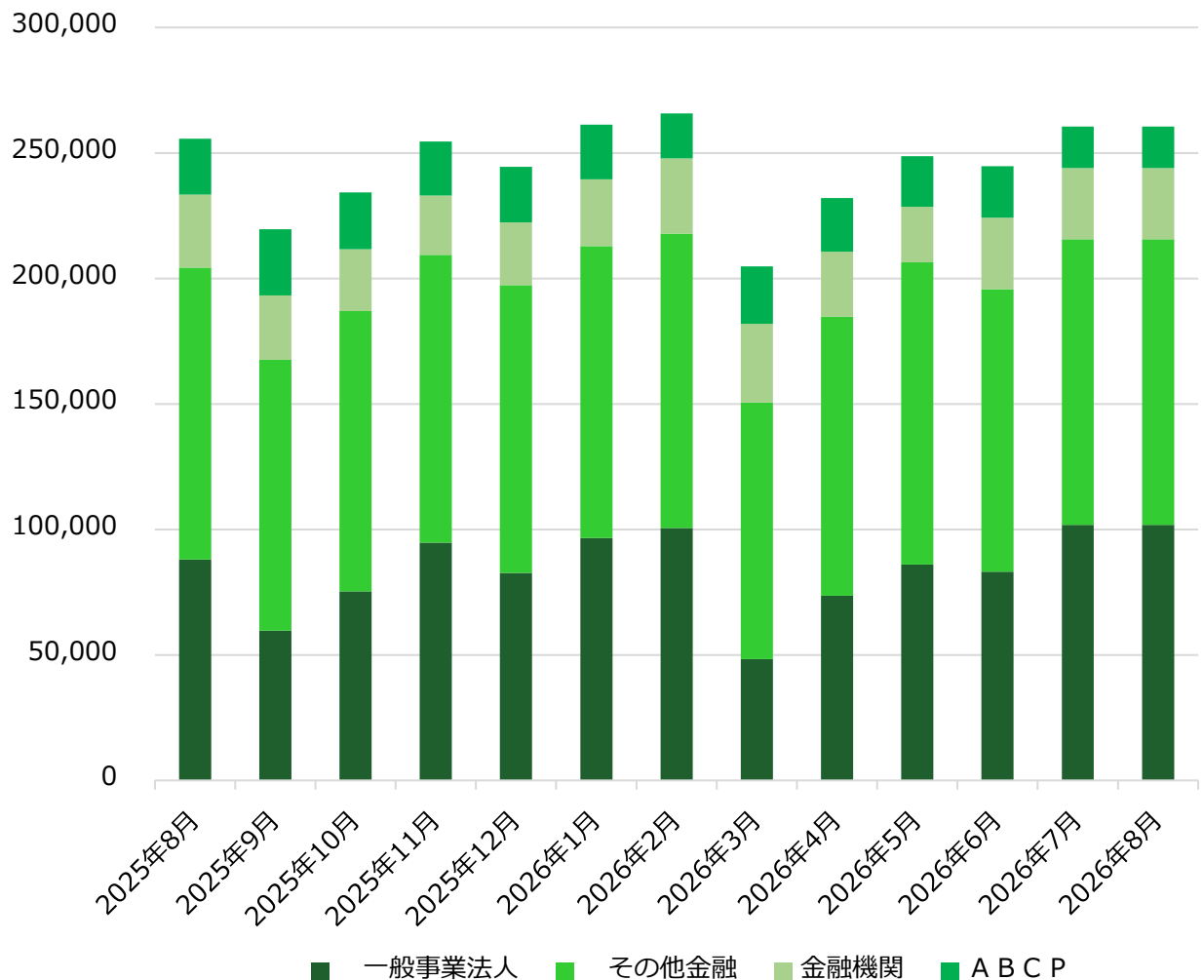
【8月末発行残高上位10社】

	発 行 企 業 名	8月末残高	7月末残高
1	NTTファイナンス	13,215	12,975
2	三菱HCキャピタル	8,595	8,680
3	合同会社AFC	8,160	7,976
4	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	7,960	7,815
5	NTT・TCリース	7,565	7,140
6	日本証券金融	7,530	7,080
7	出光興産	7,100	6,870
8	セントラル短資	6,980	6,780
9	SBI証券	6,680	5,706
10	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,775	5,506

(出所：証券保管振替機構)

【短期社債市場残高】

(2025年8月～2026年8月)



(出所：証券保管振替機構より当社作成)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会